

I 実践

1 人権教育の目標

- (1) お互いの良さを認め、相手の立場を尊重できる。
- (2) 物事を正しくとらえ、正しい判断のもとに行動できる。

2 実践内容

(1) 地域合同防災訓練

市役所職員、消防署職員、保護者と一緒に地域防災訓練を行った。簡易テント、段ボールベットの組み立てや、災害時に取るべき行動の話を通じて、災害への備えの重要性や協力して助け合う事の大切さを再確認した。



【校長先生の話】



【段ボールベットの組み立て】

(2) 認知症サポート研修会

認知症について、全学年が研修を行った。介護施設の職員の方々から話を聞き、認知症の人へどのような接し方をするとよいか等を学んだ。認知症に対して生徒たちの視野が広がり、認知症を患う家族と、共に暮らしていくことへの関心が高まった。



【介護施設職員の方の実演】



【生徒による体験】

3 成果

- (1) 地域社会との関わりでは、郷土愛や地域の方々への感謝の気持ちを育むことができた。特に地域合同防災訓練では、体験活動を通して、学年や世代を超えて協力し合ったり、お互いを思いやって行動することの大切さを実感するととても貴重な経験になった。

II 今後の課題

日々の教育活動や学校行事を通して、よりよい人間関係の育成や、地域社会の一員としての自覚を再認識する実践に取り組むことができた。今後も自尊感情・他尊意識を大切にする感情の育成を図るために、引き続き豊かな心情をもった生徒を育て、認め励まし合う人間関係の醸成を目指し、学校生活全体を通して取り組んでいきたい。

III 人権コーナー設置の様子

人権コーナーは目に入りやすいよう、人が多く通る職員室前廊下に設置されている。定期的に掲示物を取り替え、人権は人と一緒に生活していく上で、とても身近なものである

と意識できるように、様々な内容を取り入れて掲示している。また、生徒がいつでも利用しやすいように SOS ミニレターを吊り下げて設置している。



【人権コーナー】



【SOS ミニレター設置】